

平成22年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況報告

都市整備部長 宮 嶋 昇

○ 平成22年度重要事業

事業名	重点密集市街地整備の実施
目標	放生津地区において、住民と協働し、安全で安心して暮らせるためのまちづくりを進めます。
年度末達成状況	共同住宅を核としたまちづくりを進める地区において、各権利者の参加について概ね合意形成が図られたことから、次の段階に進むため建設準備会から建設協議会に改組しました。
自己評価	上記地区においては、一定の事業推進が図られました。 これから事業展開する地区でも、個別面談等を実施し個々の意向を確認しながら進めます。

事業名	住みよい・安心して暮らせるまちづくりの推進
目標	住みよいまちづくりに向け、「住まい・まちづくり計画」を策定します。 また、安心して暮らせるまちづくりに向け、「地震防災マップ」を作成します。
年度末達成状況	「住まい・まちづくり計画」では、パブリックコメントによる意見募集も行い4つの基本目標を柱とした計画を策定しました。 また、「地震防災マップ」は、建築物の全壊危険度や土地のゆれやすさ及び液状化の可能性を地図上に表したものを作成し、2月に全戸配布しました。
自己評価	「住まい・まちづくり計画」では、ハードよりもソフト、ものづくりよりも組織づくり・プロセスづくりを重要とした、住民主体のまちづくりを推進する計画とすることができました。 「地震防災マップ」については、出前講座など各種機会を捉えて普及・啓発に努めます。

事業名	北陸新幹線開通に向けた交通体系の整備促進
目標	新幹線駅へのアクセス道路網について、国道及び県道を含め総合的に検討します。
年度末達成状況	交通渋滞を解消し円滑な道路網の形成に向け、国道8号坂東交差点立体化事業、本市の外郭環状を形成する主要県道の整備は、国・県において鋭意整備が進められており、あわせて幹線市道の整備についても、計画的に整備を進めました。
自己評価	最寄りの北陸新幹線駅へ、30分以内で到着できるよう、国道、県道及び幹線市道の総合的な道路整備を促進し、地球環境にもやさしい道づくりを計画的に進めます。